

問一（二五点）

【採点のポイント】

- ・ 本文の内容を理解できていること。
- ・ 要点がまとめられていること。
- ・ 文章表現のきまりに基本的に則していること。

【解答例】

最近、ポエムと呼ばれる文章が増加している。口語に近いもので、個人の情動を最優先する幼児性に特徴がある。本来なら自分の身近でしか話せないような自閉した自分語りや堂々とたれ流されている。大人ならそれなりの技術を駆使した文章を作るはずだが、学校教育などで自分らしさや自由な表現を大切にすぎたせいで、大人になりきれない人が増えてポエムを作っている。ポエム化を防ぐためにも大人はもっと成熟する必要がある。（193字）

問二（七五点）

【出題の意図】

文章表現における理性と感情のバランスは、日本語日本文学専攻に入学した学生にとつては常に意識すべき問題となる。近年、自己陶醉気味の感情をふりまく文章が増えてきたことに対し、本文は懸念を表明している。こうした問題意識を本文から読み取り、自分の意見を論理的に表現できるかどうかを問うものである。

【採点のポイント】

- ・ 筆者が述べている問題意識をふまえ、それに対して自分の意見がはっきりと述べられていること。
- ・ 段落わけなど文章の構成がきちんとしていること。
- ・ 文章表現のきまりに基本的に則していること。